

景気の動き

四 国（地域経済報告 – さくらレポート – ・日本銀行）

項目	10月判断	前回（7月判断）
総括判断	四国地域の景気は、緩やかに持ち直している。	四国地域の景気は、持ち直しのペースが鈍化している。
公共投資	持ち直している	同左
設備投資	増加している	同左
個人消費	物価上昇の影響を受けつつも、底堅く推移している	同左
住宅投資	弱めの動きとなっている	同左
生産	横ばい圏内の動きとなっている	同左
雇用・所得動向	緩やかに改善している	同左

[日本銀行 2024年10月7日発表]

全 国（月例経済報告・内閣府）

項目	10月月例	9月月例	
基調判断	<p>景気は、一部に足踏みが残るものの、緩やかに回復している。</p> <p>（先行きについては、雇用・所得環境が改善する下で、各種政策の効果もあって、緩やかな回復が続くことが期待される。ただし、欧米における高い金利水準の継続や中国における不動産市場の停滞の継続に伴う影響など、海外景気の下振れが我が国の景気を下押しするリスクとなっている。また、物価上昇、中東地域をめぐる情勢、金融資本市場の変動等の影響に十分注意する必要がある。）</p>	同左	
個人消費	一部に足踏みが残るものの、このところ持ち直しの動きがみられる	同左	
設備投資	持ち直しの動きがみられる	同左	
住宅建設	おおむね横ばいとなっている	同左	
公共投資	堅調に推移している	同左	
輸出入	輸出	おおむね横ばいとなっている	同左
	輸入	おおむね横ばいとなっている	同左
	貿易・サービス収支	赤字となっている	同左
生産	このところ横ばいとなっている	持ち直しの動きがみられる	
企業	収益	総じてみれば改善している	同左
	業況判断	改善している	同左
	倒産件数	このところ増勢が鈍化している	同左
雇用情勢	改善の動きがみられる	同左	
物価	国内企業物価	このところ上昇テンポが鈍化している	同左
	消費者物価	緩やかに上昇している	同左

[内閣府 2024年10月29日発表]